



大卒者の就職と転職文化

北陸銀行 国際部
上海駐在員事務所

1. はじめに

中国は日本と異なり、生涯一つの企業で働こうとする人は少数です。よりよい報酬を求めて40歳前後まで転職を繰り返すことが一般的だと言われています。本稿では、昇給を繰り返し10年後には給与は倍になるのが当たり前だと考える中国の若者の就職・転職事情の一端をご紹介します。中国現法の現地化に向けて優秀な人材確保を必要とする日系企業の皆様のご理解の一助となれば幸いです。

2. 就職動向の変遷

(1) 1990年代～

改革開放政策の開始以降、国有企業から民間企業への雇用移管が続き、雇用の転機となりました。中国への進出が増加した外資系企業は、福利厚生が充実し報酬も高く、当時の大卒者にとって第一の就職希望先となりました。

(2) 2010年代～

昨今の中国経済の発展に伴って、近年は中国企業、例えば、中国石油、中国石化、中金公司、中国移动通信など中央政府系の超一流企業や地方政府系の国有企業も人気の就職先になりました。民間企業では、アリババ、ファーウェイ、テンセント他、多くの上場企業がそれらに続きます。

3. 外資系企業と中国企業の今

(1) 外資系超大手企業の今

外資系企業の魅力が薄れたとは言え、フォーブス誌の発表する世界トップ500に数えられるような多国籍企業は依然人気の高い企業です。有名な大学の学生や院生、博士などの優秀な人材が最初に希望する就職先は、こうした企業に集中しています。

欧米系外資企業の報酬はアジア系外資企業より遥かに高く、やりがいも大きいため人気ですが、やはり3～5年間勤めた後、より高い報酬を求めて次の企業に転職するのが一般的です。

アジア系の外資企業に関しては、初任給が相対的に低下し、しかも毎年の昇給率も低迷しているため、中国国内の中小企業の報酬とあまり変わらないというイメージになってしまいました。

(2) 中国企業の今

外資系の超大手企業でも見られた転職ですが、現在最も人気の就職先である超一流の国有企業では転職文化が見られなくなります。新卒者の学歴に対しては極めて要求が高く、限られた大学(本科211・985大学※(中国内トップ大学の略称、下記に詳細説明))の大卒者しか採用しません。

また、帰国後の海外留学生も海外でどのような大学で勉強したかを厳しく審査されます。

給料は大手外資系企業よりも劣るものの、安定して高収入を得続けることが約束され、超大手の国有企業に就職出来ただけで給与以外に高いステータスという大きなメリットを得ることになります。



【上海市のビル群：事務所撮影】

4. おわりに

欧米系外資企業では、高待遇で優秀な中国人材を集め、現地のトップを任せます。そして、厳しく収益管理を求めますが、その大きな責任や信頼関係にやりがいを感じる中国人も多いと言われます。

日系企業が今後中国現法の現地化を図り優秀な人材を確保するためには、待遇面での条件クリアに加え、信頼できる人材の発掘と育成が必要な要素であると思われます。

以上

※『211大学・985大学』について

①211大学

1995年11月に発表され、21世紀に向けて100校余りの世界一流大学を建設するというプロジェクト。中央政府国務院が直轄する国家レベルの大学。中国の教育部（日本の文部省相当）で登記された大学2,688校のうち115校を選出。

②985大学

1998年5月、元国家主席江沢民は超一流の大学を作ると宣言。211大学の中で更に優秀な大学校39校を選出。

<ご注意>文中意見は筆者の個人的見解であり、北陸銀行としての見解の反映ではありません。当レポートは作成時点の経済状況に基づき、情報提供のみを目的に作成したものです。

記載内容についてはご利用者のご判断と責任のもと、ご利用くださるようお願いいたします。

ほくりく長城会

長城メール

発行：北陸銀行 ほくりく長城会事務局

〒920-0024 金沢市西念1-1-3 コンフィデンス4F

((株)人材情報センター内)

TEL: (076)254-6500 FAX: (076)254-6565

E-mail: info@chojo-hokugin.jp